



只見町ブナセンターだより

<季節のごあいさつ>

今年の冬の最深積雪は51 cmにとどまり、記録的な雪の少ない冬となりました。2月中には早くもフクジュソウが開花するなど例年より一足早く春の便りが届いています。いつもと違う春が観察できそうなこの季節、ぜひ只見町にお越しください。

=====**行 事 案 内**=====

【企画展】

只見の春植物とその生活史

雪解け時期の只見町では、フクジュソウやカタクリ、キクザキイチゲなどの春植物が山地や人家周辺で大きな群落をつくり、野山を色鮮やかに彩ります。こうした春植物は早春に花を咲かせ、種子を散布すると、夏には地上部は姿を消します。一年の間でわずかな期間しかみることができませんが、ブナ林や雪食地形とともに只見町を代表する自然景観です。

この企画展では、過去に行った企画展のパネルも利用しながら、只見町でみられる春植物の生活史やその生育環境について紹介します。



■会 期：2020年4月4日(土)～6月1日(月)

■場 所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー



【只見町ブナセンター運営委員会】

令和元年度第 2 回目の運営委員会は中止となりました

3月18日に予定していました運営委員会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止となり、書面による意見聴取が行われました。なお、現在の運営委員は令和2年3月末日で任期満了となりました。これまで委員のみなさまにはブナセンターの活動に対して貴重なご意見をいただきました。感謝申し上げますとともに今後の活動に反映させて参ります。

【草木染体験教室】 1月19日（日）

ぶなの葉染めをしてみよう！

「ただみ・ブナと川のミュージアム」セミナー室において、「ぶないろくらぶ」の3名を講師にお招きし、草木染体験教室を実施しました。ぶないろくらぶは、町内にお住まいの本田一恵さん、鈴木サナエさん、酒井勝子さんの3名のグループであり、「ぶなの葉染め」の技法を用いて、只見町より認定を受けた伝承産品の手ぬぐいや小物を製作されています。

本教室では、ぶなの葉染めの各工程を参加者に体験していただきました。はじめに染色液の作成過程を見学したのち、参加者それぞれで絹地のバンダナやハンカチなどの素材にゴムやひも、ビー玉、割りばしなどを巻いて、染まる所と染まらない所をつくる模様つけを行いました。その後、第1回目の染色として、染色液に素材をひたし、20～30分ほど煮立たせます。染め終わった素材は、きちんと水で洗って、よくしぼります。次に媒染液に浸します。染色液はそのままでは色が落ちてしまうため、媒染液につけることで色素を素材に定着させます。この工程が終わると、再び素材を染色液に入れて煮立たせ、2回目の染めを行います。

最後に、染色を終えた素材を洗ってよくしぼり、模様つけに使用した物を素材から外します。自分で染色したバンダナやハンカチの模様を見た参加者からは感嘆の声が上がりました。参加者によって模様が異なり、それぞれに工夫された模様が草木染めの中で綺麗に浮かび上がりました。参加者からは、想像以上に綺麗



▲ブナの葉染を説明するぶないろくらぶ



▲染め上がった素材を紹介する参加者

麗な模様ができたことや、ブナを身近に感じるようになったこと、ブナの落葉を自分でも採取して実践してみたいといった感想が寄せられました。

【只見ユネスコエコパーク関連事業】 1月26日（日）

令和元年度「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会

令和元年度「自然首都・只見」学術調査研究成果発表会が朝日振興センターの2階ホールで行われ、町内外から40名以上の方が参加されました。「自然首都・只見」学術調査研究助成金事業は、只見町の価値を科学的に評価することを目的とし、只見町の自然環境、生物多様性、民俗・文化についての調査研究に対して助成を行うものです。只見ユネスコエコパーク事業の学術的研究、教育・研修、人材育成への取り組みとして実施されています。今年度は、8名の研究者（グループ）が助成金の交付を受け研究調査を行いました。発表会ではその成果をご報告いただきました。はじめに町長より、只見ユネスコエコパークを特徴づけるこの事業への研究者や町民からのご協力に感謝の意が述べられました。



▲発表者の方々と菅家町長（中央）

発表会では、植物に関して、伊南川流域の河畔林において外来種ハリエンジュと在来のヤナギ類との生育分布の違いとその要因を明らかにした研究、国や県の絶滅危惧種であり只見町の貴重野生動植物種に指定されているトキソウの町内に生育する個体群の遺伝的多様性やその保護の緊急性を検討した研究成果が報告されました。ブナを対象とした研究としては、個体間あるいは樹高の違いによって開葉日が異なることを調べた研究と1個体のブナの遺伝情報を用いておよそ1000万年前からのブナ個体数の変化を推定した研究がありました。また、動物に関しては、クロサンショウウオ幼生の大顎化が、生息密度が高く共食いが生じる環境下あるいは餌となるヤマアカガエル幼生の捕食によって発現するのかを調べた研究、水辺に生息するアシナガバエ類の只見町における種多様性を明らかにした研究がありました。さらに、町内で採取したヤマグワ、フキ、コチャルメルソウに生活習慣病の予防に役立つ機能性物質が含まれているのかを明らかにした研究、只見町の年長者への聞き取り調査から生物資源利用のデータベースを構築した研究など発表内容は多岐にわたりました。発表内容に対して、参加者からも多くの質問があり、活発な質疑応答が行われました。



▲会場の様子

最後に、紙谷ブナセンターの館長からは「学会で発表するようなレベルの高い研究であったので、ぜひ研究成果を様々な場面で発信していただきたい。ただ、難しい内容の発表もあったので、今後は町民の方がこれらの研究成果によって只見町のすばらしさを再認識できるよう、理解しやすい発表の仕方を工夫していただきたい」との講評がありました。



▲講評をする紙谷ブナセンター館長

【新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての行事予定の変更について】

新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため下記の行事を中止とさせていただきます。ご参加を予定されていたみなさまには誠に申し訳ございません。なお、中止となった行事については日程を改めて開催することを検討しています。新たな日程が決まり次第ご案内させていただきます。

2月29日(土) ブナセンター講座「雪国只見の地形と樹木、植生の分布」 講師：鈴木和次郎氏

3月7日(土) 冬の観察会「蒲生岳裾野のブナ林を観察しよう！」 観察地：蒲生岳周辺

3月11日(水)～15日(日) 只見ユネスコエコパーク展(会津若松市・会津稽古堂)

3月22日(日) BR 特別セミナー「大型野生動物と人間」 講師：三浦慎悟氏

===== お 知 ら せ =====

【刊行物発行のお知らせ】

企画展解説シリーズ13 「植物学者 河野昭一の世界 その生涯と只見」



2019年4月～同年9月に開催された企画展を冊子化しました。

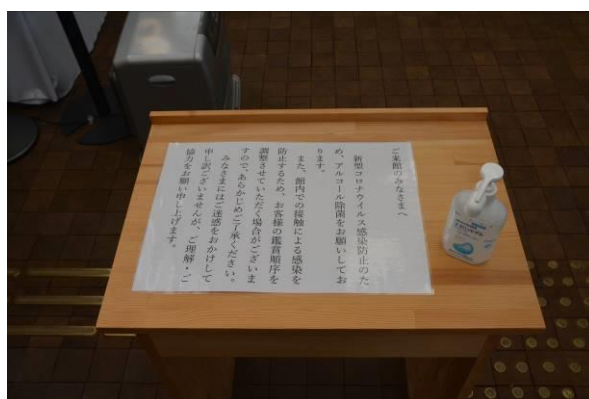
ブナセンター初代館長(後に名誉館長)を務められた故河野昭一博士は、著名な植物学者でありながら、自然保護運動の活動家でもあり、只見町でもブナ林の保護活動に尽力され、今日の只見町のブナを核とした町づくりの基礎をつくっていただきました。本書は、河野先生の経歴をたどりながら、その業績を紹介しています。ぜひお手に取り、「河野昭一の世界」について知っていただく機会としていただければ幸いです。

【付属施設における新型コロナウイルス感染拡大予防対策について】

「ただみ・ブナと川のミュージアム」および「ふるさと館田子倉」では、新型コロナウイルス感染防止のため下記の対策を行っています。

- ① 来館者に入り口でのアルコール消毒をお願いしています。
- ② スタッフは受付の際に手指を消毒して対応いたします。
- ③ 館内での接触感染防止のため、お客様ごとに間隔をとってご見学いただくようご案内いたします。
- ④ 手すりや取っ手、ドアノブ、机などを次亜塩素酸で定期的に消毒しています。

ご来館のみなさまにはご不便をおかけして申し訳ございませんが、何卒ご理解・ご協力をお願いいたします。上記の対応を取ったうえで、両施設とも平常通り開館しております。スタッフ一同、ご来館のみなさまが安心してご見学できるよう努めてまいりますので、今後とも只見町ブナセンターをどうぞよろしくお願い申し上げます。



▲ふるさと館田子倉の受付（左）とただみ・ブナと川のミュージアム入口（右）に設置した消毒液

【只見町ブナセンター付属施設の入館料の改定について】

消費税の引き上げ等に伴い、令和2年4月1日より「ただみ・ブナと川のミュージアム」および「ふるさと館田子倉」の入館料を下記の通り改定することとなりました。なお、入館チケットは共通チケットとして取り扱っており、1枚で両施設にご入館できます。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

(変更前) 高校生以上 300円(250円) / 小・中学生 200円(150円)

(変更後) 高校生以上 310円(260円) / 小・中学生 210円(160円)

只見町内 小・中・高校生 無料 ※()内は20名以上の団体料金

【只見町ブナセンター友の会】

友の会会員による写真展「只見の自然と暮らしを撮る」写真募集中！

只見町ブナセンターでは、2020年度秋季より友の会会員による写真展「只見の自然と暮らしを撮る」の開催を計画しております。本写真展は、友の会会員からご応募いただいた只見に暮らす人々の日常や町の自然、文化を撮影した写真を展示することで、只見町の魅力を町内外に広く知ってもらうことを目的としています。スマホやコンパクトデジカメの写真でも大丈夫です。

現在、友の会会員から写真を募集しておりますが、会員でない方でも友の会に入会していただければご応募できます。詳しくは、只見町ブナセンター（電話 0241-72-8355）までご連絡ください。



只見町ブナセンター 2020年度行事一覧（予定）

月	企画展
4月	4月4日～6月1日
5月	企画展「只見の春植物とその生活史」

※新型コロナウイルスの影響を考慮し、当面の間、不特定の方が集まることとなるブナセンター講座および自然観察会の開催を自粛することとしました。ご理解のほどよろしくお願いいたします。開催が決まりましたら、順次お知らせいたします。

<編集後記> 2019年度は、10月の台風19号、2月～3月の新型コロナウイルスの影響で複数の行事の中止や延期など、予想しない出来事が続き、大変ご迷惑をおかけいたしました。予定通り事業を実施できることが当たり前ではないと改めて気づかされた一年でした。いまだ続く混乱の中で年度が変わっていきませんが、只見町ブナセンターではこの状況に合わせてできること、今だからすべきことを検討し、前向きに取り組んでいきたいと考えています。今後もブナセンターへのご支援をよろしくお願いいたします！みなさま健康管理には十分にお気を付けいただき、またブナセンターでお会いできることを楽しみにしています。（遠藤）

発行 **只見町ブナセンター** 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地

電話 0241(72)8355 ホームページ <http://www.tadami-buna.jp>

FAX 0241(72)8356 電子メール info-buna@amail.plala.or.jp

Facebook <https://www.facebook.com/tadami.buna>

附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」、「ふるさと館田子倉」

開館時間：午前9時～午後5時（最終受付は午後4時まで）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

入館料：高校生以上 310円 小中学生 210円 未就学児無料（20人以上は団体割引）

只見町内在住 小・中・高校生 無料



只見町ブナセンター